

若者を中心とした包括的な「海洋ごみ削減」社会変容施策

千葉県の行った R4 年度の県政に関する世論調査によると学生年代の環境ボランティア活動への意欲が高い人は男女共に6割を越え、他の年代に比べ若年層は意識が高いことが伺えた。そこで意欲の高い若年層に向けて海洋ごみ視点で「知る」「参加する」「考える」「作る」といった包括的なプログラムを実施し、理解を深めてもらった上で実際にアクションを起こせるマインドを形成、社会変容を促進する事業を展開した。学生たちは理解を深めたと共に海洋ごみ問題への意識変容が伺えた。また、一般参加者からも多くの学びを得たとの声があった。

その他事業：スポ GOMI など

2023 年度 実施状況について

海洋ごみ削減の 学生アイデアソンプロジェクト



- 概要** モデル事業を検討するアイデアソンを開催、記者に向けて成果発表し、世に実装を目指す。
- 目的** 行動出来ていない学生へ自分たちのアイデアが世に実装される過程を通じ理解を深める。
- アピールポイント** 実装予定のごみ拾い×異文化交流×地域の魅力のモデルは地域創生にもなり有意義であった。
- 効果** 考えたアイデアが社会に組み込まれる過程を見た高校生たちは自己肯定感が上がったと共に実際にごみ拾いを行うようになった。

プロギングステーション



- 概要** 学校対抗のプロギングイベントを行い、ごみの量を競った。一般からも参加を募った。
- 目的** 気軽に楽しんで参加できるプロギングの普及、学生へ対抗心によるきっかけを提供。
- アピールポイント** 学校対抗としたことで多くの学生へきっかけの提供と環境への理解促進を図ることが出来た。
- 効果** 4つの高校で合わせて400名の高校生が自由参加してくれ、ステーションを設置し呼びかけることで潜在層を参加させることが出来た。

海洋ごみアップサイクル プロダクト開発



- 概要** 千葉県で拾われたごみを一部含んだアップサイクルプロダクトを開発する。
- 目的** ごみをごみで終わらせないと共に販売することで消費者へ問題提起を届ける。
- アピールポイント** 大手ECプラットフォーム「ZOZO」と共に活動し、多くの目に触れる機会を創出する。
- 効果** 2024年3月に販売を開始する予定。プラットフォームを通じ千葉県発の意識変容を促すと共に購入者へサステナブルな生活を提案

海ごみゼロウィーク



ごみ拾い参加人数 4,495人 箇所数 32箇所

アピールポイント 春は館山市と連携し、市内で計8浜の海水浴場で、ワールドクリーンアップデーに県内4箇所にて同時開催するなど、同一日でも広く開催出来るよう工夫した。

メディア露出



メディア露出本数 10本 (年度内数本実施予定)

アピールポイント 朝の情報番組「モーニングごんぱす」を中心に19本放送。千葉県民に向けて広く周知するとともに海洋ごみ問題について理解促進を図った。

2023 年度の課題とこれからの展望

アイデアソン、プロギングステーションの活動を通じ、潜在層を参加させるための取組を推進してきたが、マスに対する告知だけでなく、生活しているその場でのアプローチも今日かしていく必要があると感じた。これからも若年層に対するアプローチを増やし、生活の場で意識付けできるような取組を行いながら意識変容に繋げると共にプラットフォームとも協力し、海洋ごみ問題への取組を続けていく。